



学校だより

令和8年 2月14日
練馬区立北町西小学校
校長 風見 由起夫



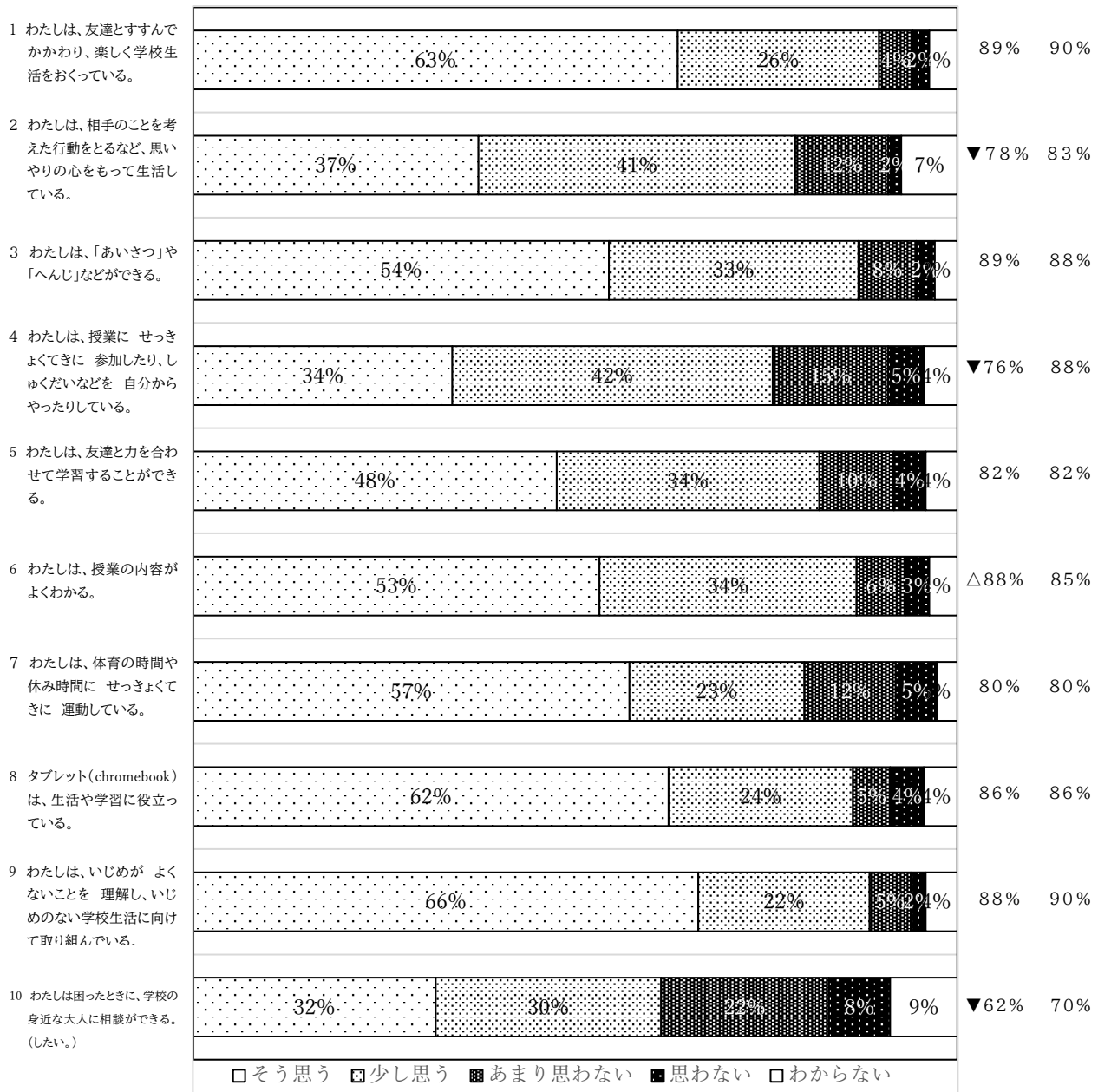
令和7年度 学校評価アンケート結果

- 1 実施期間 令和8年1月14日(水)～1月22日(木)
- 2 対象・実施方法 本校に在学中の全家庭及び児童(GoogleFormsを利用したオンライン実施)
- 3 回答数 児童 410件(児童数の約87%)
保護者 267件(家庭数の約70%)

4 回答の概要

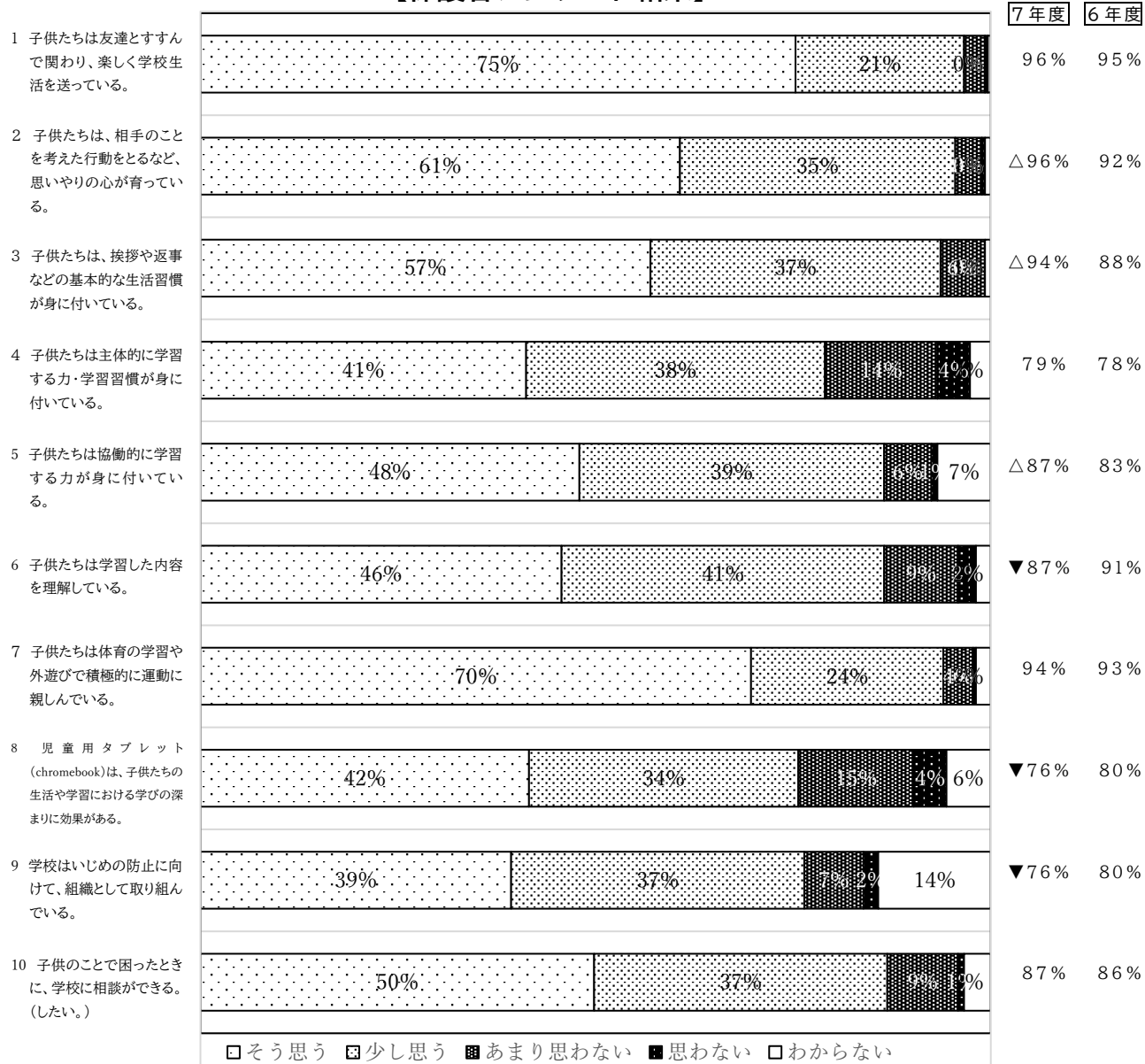
【児童アンケート結果】

前年度との比較
7年度 6年度



【保護者アンケート結果】

前年度との比較



5 アンケート集計結果の考察とご回答

- 「友達とすすんで関わり、楽しく登校している」と回答があった児童が89%でした。引き続き、子供たちが楽しく登校できるよう指導を工夫していきます。
- 「挨拶」や「返事」などの基本的な生活習慣については、前年度よりも改善が見られました。挨拶も返事もよりよい人間関係を築く上でとても大切なものです。継続して指導し、児童がその良さを感じ取ることができるようにしていきます。
- 「学習」に関して、75%以上の児童が学習習慣を身に付け、取り組もうという意識をもっていることが分かりました。本年度は「協動的な学習」の力を高める教職員の校内研究も行い、授業改善に努めました。「学習の基礎基本」に加え、「めあてや計画を立てること」「主体的・対話的な学習を行うこと」「ふりかえりを通して計画を見直したり、学習したことについて一般化を図ったりすること」など、学習する力を高める指導を心掛けていきます。
- ▲ 「学校だより」「学年だより」「classroom」での連絡の役割について教職員で確認し、分かりやすい情報発信に努めていきます。
- ▲ 「困ったときに相談できる」と感じている児童の割合は、前年度増加したものの、今年度は減少しました。今後も、「生活アンケート」の結果や「ふれあい月間」の取り組みなどを活かしながら、日常的に児童一人一人に寄り添い、一人でも多くの児童が楽しく登校できるように取り組んでいきます。
- ▲ 「思いやりの心」「いじめ防止に向けた取り組み」に関して、児童への継続的な指導はもちろん、家庭との状況共有のしかたなど、子供たちが楽しく安心して過ごすことができるよう、学校として取り組んでまいります。

【保護者の皆様からの自由意見（令和7年）】

いただいた自由記述の中から、主なご意見や共通するご要望を抜粋して掲載いたします。個別の事案や個人が特定される内容については、掲載を控えておりますが、いただいたすべての内容は学校として真摯に受け止め、改善に向けた検討を行ってまいります。

【学校からのお知らせに関すること】

- 運動会のプログラム等複数枚欲しくなるものは紙に加えデータでも配布すべき。sigfy や classroom に上げて欲しい。（そうすれば自分で印刷できるので）
- Sigfy、配布物、タブレット（classroom）と情報源がバラバラでチェックしづらい。特に、データがあるものは、可能な限り Sigfy とクラスルーム両方で掲載して欲しい。
- 多くの配布物をシグフィで配信してくださるのが、月の最終日ですが、翌日からの予定を平日に知るの難しいこともあります。もし可能でしたら、予定が書かれている、学校だよりと、学年だよりだけでも、最後の金曜日など、週末前に配信いただけると、子どもと確認しながら準備すべき物など整えられるのでありがたいです。
- classroomでの先生からのお知らせは、親の方でも確認出来ると有り難いです。
- sigfyのおかげで手紙の確認や休みの連絡が簡単にできるようになって助かってます。すべてをデジタルにするのは不安もあるので、連絡帳と電話も残していただけてるのがとても良いです。先生たちにはほんとうにいろいろと臨機応変に対応していただけて、親子で感謝しています。
- 配布物、sigfy、タブレットなど多様な媒体でのご連絡はありがたい反面、重要なことがどこに書いてあったかが分かりづらくなっており、探すのに苦労しています。
- シグフィがとても便利です！紙は子供がすぐになくすので、本当に困っていました。すぐに携帯から必要な情報が確認できて、大変助かっています。
- シグフィを見るのが面倒だと思ってしまうことがしばしばありますが、プリントだと紛失したり保管したりするのが大変なので、見たいときにすぐに見られるのか良いですね。ありがとうございます。
- 月始めに配信される学年だより、学校だよりだけの連絡、クラスルームだけの連絡、など片方だけの情報伝達が多く、どちらも情報伝達の線引きが曖昧で、重要な連絡事項を見落としがちになります。例えば学年だよりではざっくりとその月の予定を伝達し、クラスルームでは日付指定の連絡や日々の詳細な連絡を伝達するようにしてほしいです。
- 配布物を親に渡す練習期間が少なかったため、受け取れていないことが多い。一年生の1学期内だけでも、練習がてら紙で対応して欲しい。
- 小学校に入り、学校での様子が子どもに聞いてもよくわからなかったのが、クラスだよりなどがあると嬉しいなと思いました。
⇒ classroomでは、児童向けに学習用具や時間割を伝え、sigfyでは、保護者向けにお知らせするようにしています。学校だより、学年だよりやその他のお知らせも含めて、より分かりやすくお伝えできるよう工夫していきます。

【授業に関すること】

- あてられても答えなくていい、やりたくなかったらやらなくていい、発表しなくてもいい環境で、ちょっと自分の枠を出て、チャレンジしてみる機会が減っているのかなと感じています。
⇒ 新しいことに挑戦する気持ちは大切にしていきたいと考えています。様々な教科、学校行事等の取り組みを通して、挑戦することの大切さ、楽しさを経験する機会を設けていきます。

【学習用タブレットに関すること】

- タブレットが学びの深まりを生むときももちろんあると思います。ただし、全てをタブレットにということには疑問を感じています。小学校1年生の1学期、毎日のように連絡帳を書かせてくださることで、メモを取ることが習慣化し、上手になりだしたことを親子で喜んでいました。しかし、2学期から先生がタブレットに打ってくださるのを帰宅後見るだけになってしまいました。せっかく力がついてきたメモを取る力がその後向上できないこと、とても残念に感じています。必要に応じてメモする力は学習の基本にもなると思います。また、自分でメモしていたときは、その場で疑問に思ったことを質問できていたのに、帰宅後タブレットを見るようになった今は、疑問に感じても質問することはできず「わからないけど、書いてないからしょうがない」と他力本願になってしまっていて、とても残念に感じます。ぜひ、タブレットだけではなく、まずは書く力を大切に育み、長い目線で、学が深められるように基礎を築いていただけたらと願っています。
- タブレット教育も必要ですが、読み書きできてこそだと思います。その訓練を低学年のうちにメインでさせた上で、タブレットも併用させた方がいいと思います。
- パソコンが重すぎるのでカバンが毎日とても重いので改善して欲しいと常々思っています。
 - ⇒ タブレットは、衝撃に耐えられるよう堅牢な作りになっているため、重くなっています。今後も持ち帰りのものが多ならないよう工夫していきます。また、タブレットは学習を深める道具として活用しています。もちろん、書くことも大切であると考えていますので、学習活動の中で書く活動を取り入れていきます。

【その他】

- 毎朝、校長先生が校門で児童たちに声を掛けてくださり、元気のいい挨拶で登校できることもとても大きいと思います。また、学童擁護の方々も、毎朝温かく声をかけてくださり、挨拶の輪が登校前から広がりとてもありがたいなと思っています。
- 担任の先生の細やかなご指導に感謝しています。我が子やお友達の様子をきいても、児童それぞれの特性に応じた対応をしてくださっていると感じ、大変有り難いです。
- 我が子は、副校長先生や音楽の先生などにも話をきいてもらっているようです。クラスを超えて、担任以外の先生方にも話ししやすい雰囲気なのかと思い、重ねて有り難く思います。引き続きよろしくお願い致します。
- 学校に行きたくないと言わずに6年間過ごせたのは、学校の教育活動のおかげです。また、社会や大人をバカにするような態度もせず素直に成長しているのも学校教育のおかげだと思います。挨拶が積極的にできなかったり友達と協力しての活動が苦手だったりするのは性格的な問題であり、学校以外での様子を見るともう少しなんとかならないかと思いましたが、個人面談で担任の先生に学校での態度をほめていただき、やる時はちゃんとやっているとし少し安心しました。
- 我が子に関してになりますが、発達支援、個々の成長に関してとてもご理解が深く、協力的な学校だと日々感謝しております。たくさん先生方に見守っていただき、多くのご支援をいただき、いつも本当にありがとうございます。
- 特にありません。いつもありがとうございます
- いつもありがとうございます。北西の先生たちには感謝しかありません。
- 関係ない回答となるかもしれませんが、特に2年生以上の学年は子供に任せられる所は任せて、先生方の有休消化やお子様に合わせてお休みが自由にとれる環境となるよう願っています。
- いつもご指導ありがとうございます。子どもが毎日楽しそうに学校に通っており、学んできたことをいろいろ教えてくれ、うれしく思っております。担任の先生はじめ、学校の先生方のお力だと実感しております。ありがとうございます。
- スクールカウンセラーとの連携について、本人と面談して連携しますと言われてから、面談日も過ぎておりますが、一向に連絡がなくお電話もつながらないため状況がわからず困惑しております。連携方法など見直していただけるとありがたいです。
 - ⇒ 申し訳ありません。カウンセラー、心のふれあい相談員、スクールソーシャルワーカーなど、様々な方々が子供たちを見守り、支えています。連携が滞らないよう注意してすすめていきます。